

(第3種郵便物認可)

三菱東京

大林組JVで15年5月着工

三菱東京UFJ銀行を高層ビルに建て替える約7万8500平方メートルを、御堂筋沿いに立地する。本館と別館で構成する。大阪ビル（大阪市中央区旧三和銀行本店ビル）新ビルは、総延べ床面積

約7万8500平方メートルの見込む。今後、既存施設の解体工事を進め、15年5月の本体工事着手、17

「本館と別館、金庫室、エレベーターホールなど、未建設」が担当する。建設地は中央区伏見町3丁目、同区高層橋3丁目敷地（計約5500平方メートル）。施設規模は、約94億円となっている。

04年）、東側の別館がS一部SRC造地下3階地上18階建て延べ2万9689平方メートル（最高高さ約94メートル）となっている。

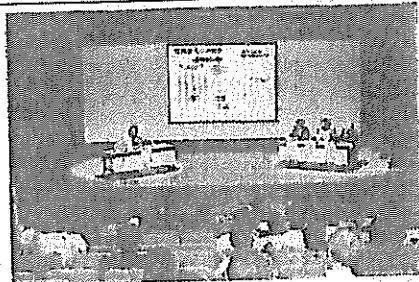
井氏は「学生の間に建設の仕事を対する誇りと達成感を感じてもらいたい」とインターンシップの重要性を示した。

「建設業を志す一建設業の担い手づくりの課題と展望」と題して行われたパネルディスカッションでは、建山氏のコーディネートで、京木村教授、ミヤシシステム常務の宮脇恵理氏、五星取締役副社長の神原孝行氏が「地方のインフラを安定的に維持していくために、何をすべきか？」について議論。

この中で、宮脇氏は「地域のインフラがどのようにに役立っているかを市民が知る機会をつくる必要がある」と述べたほか、神原氏は「官民連携事業により、地元業者が地域内の公共インフラの維持管理を担うことも、要支援者の見回りな

元請企業の加入状況については、経審通知書や年金事務所の書類、公共職業安定所の書類で確認。落札候補者には加入誓約書を提出させる。2

建設未来京都フォーラムがシンポ 人材確保・維持管理テーマに 120人が認識を共有



環境システム工学科教授 新井清一 京都精華大学デザイン学部建築学科教授が発起人となつて今年8月に設立した。

この日のシンポジウムでは、最初にフォーラム設立記念事業として募集した子どもたちの作文集「未来へのまなざし」に掲載された中学生1年生の作品を披露した後、木村亮京都大学大学院工学研究科教授・特定非営利活動（NPO）法人道普請人理事長が「建設業の未来づくりは人づくり」のテーマで講演。

京都の建設関係者が未来志向で諸課題を議論する「建設未来京都フォーラム」は10日、京都市左京区の市立国際交流会館で、シンポジウム「建設未来京都フォーラム2014」（共催：京都サン

和由立命館大学理工学部）の専らしを守り、豊かにする輝かしい建設業を取り戻したい。建設業の今を見つめ、未来を描こうとの趣旨の下、新井恭子京都サンター社長、建山和由立命館大学理工学部

新たな発想を呼び掛ける 建山氏



りとは、答えのない問題や難しい問題を解決することであり、土木の世界には発想の大転換と若い人の力が重要だ」と訴えた。



講演する木村氏

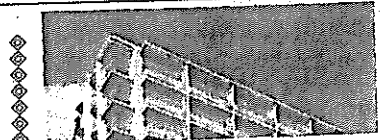
続いて行われたパネルディスカッションでは、京都府建設業協会のマンガ広報紙「雨のち晴れ」の作成経緯を巡り、同協会の山下尚治広報委員長、著者で京都精華大

大黒氏は「京都府内で土木を学ぶ高校3年生は30人しかいない。小学生のころからイメージを植え付けなければならぬ」として効果的なPR手法の検討を強調。コーディネーターを務めた新

後、「地元建設業者と若い人材が課題を共有し、ともに取り組む仕組みづくり」（新井恭子発起人代表）を目標に取り組み方針。子どもたちや建設業で働く女性らの作文を掲載した作品集についてはホームページ（http://kensetsumirai.jp/）でも公開している。

建設技術展2014近畿 出展技術紹介 3

竹中土木



神